

「宇治茶実践型学舎※」初の修了生が茶業経営を開始します

当所は、宇治茶生産の担い手を確保し、新規茶業経営者の育成を図るため、令和元年度に「宇治茶実践型学舎」を設立し、京都府内での就業・就農を推進しています。

このたび、宇治茶実践型学舎を設立後、初めてとなる2名の学舎生が研修を修了したため卒業式を行いました。学舎生からは、「学んだ知識や技術を活かして、高品質の宇治茶を作れる農家になりたい」と決意表明がありました。

今後、修了生の2名は、実地研修を行った南山城村で新規就農することとしており、宇治茶生産農家としての第一歩を踏み出します。



卒業式で修了証書を受け取る修了生



就農に向けて決意を新たにする修了生



茶生産現場での実施研修の様子



当所での製茶加工研修の様子

※「宇治茶実践型学舎」

茶業経営に必要な茶園管理、製茶加工に関する基礎的な知識や技術の研修と就農地で先進農家の元での実地研修を組み合わせたカリキュラムにより、原則2年間で技術や経営能力を身につけることができる研修制度

農林センター（茶業研究所）